



Title	概要、凡例
Author(s)	-
Citation	琉球大学資料館（風樹館）収蔵資料目録 第5号：琉球大学資料館（風樹館）哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類標本目録(5): 1-1
Issue Date	2011-03-31
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/25294
Rights	

概要

本目録には、琉球大学資料館（風樹館）に収蔵されている収蔵資料の中から 2011 年 2 月までに標本化と登録を完了した、哺乳類標本 132 点 30 種、鳥類標本 86 点 44 種、爬虫類及び両生類標本 883 点、77 種が収録されている。これらの標本は、おもに琉球大学の教職員や学生らによって沖縄県を中心に琉球列島各地から採集されたものである。特に、本コレクションには、高良鉄夫琉球大学名誉教授によって収集及び研究されたキザトサワヘビ、ヨナグニシュウダ、ミヤラヒメヘビ 3 種のホロタイプ標本やイリオモテヤマネコのパラタイプ標本のほか、高良博士の論文や著書に掲載されている重要な標本類が含まれている。

凡例

ID	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態	標本種別
----	------	-----	-----	----	------	------

「ID」は、琉球大学資料館(風樹館)の標本登録番号を示す。「採集場所」は、オリジナルラベルに記載されていたものを編集して記した。「性別」もしくは「成熟度」の欄の、「オス」は雄の成体、「メス」は雌の成体、「成体」は雌雄が不明な成体、「幼体」は雌雄が不明な幼体、「卵」は卵、「不明」は雌雄や成熟度が不明なものを示している。「保存状態」の欄には、本剥製、仮剥製、骨格標本、頭骨標本、液浸標本、乾燥標本の別を記し、同一個体から剥製標本と骨格標本を作成した場合には、各種毎で同じアルファベット(A~N)を末尾に記した。また、毛や骨などの個体の一部分のみが標本として保存されている場合は、末尾に「P」を記した。

学名と標準和名及び各分類群の配列については、哺乳類は阿部（2005）と沖縄県文化環境部自然保護課（2005）に、鳥類は日本野鳥の会（2000）と沖縄県文化環境部自然保護課（2005）に、両生爬虫類は「日本爬虫両棲類学会の日本産爬虫両生類標準和名（2009年12月6日改訂）」に従った。

参考文献

阿部永監修, 2005. 日本の哺乳類 [改訂版]. 東海大学出版会.

Imaizumi, Y., 1967. A new genus and species of cat from Iriomote, Ryukyu Islands. J. Mammal. Soc. Jap., 3: 75-108.

日本爬虫両棲類学会, 2009. 日本産爬虫両生類標準和名 (<http://zoo.zool.kyoto-u.ac.jp/herp/wamei.html>)

日本野鳥の会, 2000. 日本鳥類目録 改訂第 6 版.

岡田弥一郎・高良鉄夫, 1958. 琉球産アオヘビの一新種. 日本生物地理学会会報, 20 (3): 1-3.

沖縄県文化環境部自然保護課, 2005. 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物（動物編）レッドデータおきなわ.

高良鉄夫, 1962. 琉球列島における陸棲蛇類の研究. 琉球大学農家政工学部学術報告, 9: 1-202.

Toyama, M., 1983. Taxonomic reassignment of the colubrid snake, *Opheodrys kikusatoj*, from Kume-jima Island, Ryukyu Archipelago. Jpn. J. Herpetol., 10(2): 33-38.